

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年12月8日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長 他

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして補足説明をさせていただきます。

本日は2件御説明がございます。

まず、1件目、1ページ目、2.、12月8日、(2)の審査会合でございます。こちらは現在実施されている、開催されている審査会合でございます。議題は大きく2点ございます。

まず、1点目、北陸電力株式会社・志賀原子力発電所につきまして、敷地の地質構造につきまして、コメントへの回答をお聞きし、議論を行うという予定となっております。

続きまして、2点目といたしまして、北海道電力株式会社・泊原子力発電所につきまして、敷地の地質構造につきまして、コメントへの回答をお聞きし、議論という予定となっております。

続きまして、2ページ目、最後の項目でございます。3. (1) 更田原子力規制委員会委員長が福島県内市町村を訪問するという予定が入っております。具体的には、12月14日～15日にかけて飯館村、川俣町、伊達市、南相馬市、川内村、葛尾村、田村市を訪問いたしまして、それぞれの首長の方々とお会いするという予定としております。

この訪問の趣旨でございますが、原子力規制委員会委員長の交代があったところでございますので、これに伴いまして関係自治体の首長と率直な意見交換を行うということを目指しております。田中俊一前委員長も同行をする予定となっております。

私からの説明は以上でございます。

### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ナギラさん。

○記者 毎日新聞、ナギラです。

更田委員長の福島訪問に関して伺いたいのですが、田中前委員長が同行されるという

ことで、その目的とといいますか、どういった理由でというのをもう少し詳しく伺いたいのですが。その経緯とですね。

○大熊総務課長 更田新委員長が就任した際に、機会を得て福島地域を訪問したいという事は当初から申し上げていたところでございます。それで、田中前委員長というお話がございました。実は田中前委員長は、2年前のやはり秋、平成27年10月に福島の14市町村を今回と同様に訪問いたしております。今回も同じ被災地の市町村を訪問するに当たって、前委員長と新委員長と一緒に訪問いたしまして、委員長の交代の御挨拶ということも含めて意見交換を行うと、こういうことになったということでございます。

○記者 細かいのですが、これは規制委員会側の方から田中前委員長の方に要請されたのか、それとも田中委員長の方から挨拶も含めて自分から行くというふうにおっしゃったのか、どちらなのでしょう。

○大熊総務課長 前委員長と新委員長、同じ委員会のメンバーの関係でございますので、正直、どちらからというより、前委員長、新委員長の間で話す中でそういう形になったと御理解いただければと思います。

○司会 シゲタさん。

○記者 NHK、シゲタです。

同じことをお伺いしたいのですが、まず、田中前委員長なのですけれども、もちろん前委員長であるのは重々承知しているのですけれども、どういうお立場で行かれるのですか。

○大熊総務課長 まさに前委員長という立場で、地域の出身地でもあり、前回も訪問して地域にも御縁もあるということで、前委員長として同行するということでもあります。

○記者 今、何か規制委員会の肩書みたいなものはあるのですか。

○大熊総務課長 今回の訪問については、基本的に前委員長という形で行くと御理解いただければと思います。

事務的にはありますか。

○司会 広報室長の関です。

趣旨は、今、大熊から申し上げたとおり、元委員長として、今まで周辺市町村を回られているという経緯もありますので、一緒に同行して顔つなぎのようなことをしたいというようなことは本人も申しておりました。

それから、今、肩書はございませんが、この当日については、一緒に同行するということございますので、規制委員会の臨時的な参加でありますとか、参事というような形の、その期間中だけ事務的な形をつけるということはやりますけれども、基本は前委員長という立場でお回りになるということでございます。

○記者 分かりました。

あと、実際にお会いして率直な意見交換をしたいというお話がありましたけれども、

具体的に何かこういうことに関しては確認しておきたいとか、こういったテーマで話し合うといったものはあるのでしょうか。

○大熊総務課長 福島の被災地を訪問するということでございます。私ども原子力規制委員会としては、福島第一原子力発電所、これの廃炉に向けた作業、これについての安全確保をしっかりと監視していくという役割を担っているというのは御存じのとおりでございますので、そうした廃炉に関する状況を含めて、ただ、もちろんそれに限定せず、幅広く率直に意見交換ということで伺うということを目的としているというところでございます。

○記者 最後なのですが、更田さんは常々、自治体とのコミュニケーションを強めていきたいというお話もあったと思うのですけれども、これはその一環になるのか、それとは別の枠組みなのか、お伺いしてもよろしいでしょうか。

○大熊総務課長 広く捉えれば、自治体とのコミュニケーションということでももちろん関係はしておりますけれども、この被災地を訪問するということについては、就任の当初から、早々に機会を見つけてまず訪問して意見交換をしたいということを表明していたところでございます。ですので、立地自治体などとの意見交換ということとももちろん関係しますけれども、同じということではなくて、少し文脈が違うものだと考えております。

○司会 御質問のある方。スミさん。

○記者 共同のスミです。よろしくお願ひします。

いくつかお聞きしますけれども、続いていきますけれども、更田委員長と田中前委員長の福島訪問ですけれども、この自治体のチョイスというのはどういった基準があったのですか。

○大熊総務課長 今回、先ほど申し上げました市町村については、まず12月にここをお伺いするわけですが、第2回目も検討しておりまして、1月中には被災地の他の自治体も訪問し、合計いたしますと14の市町村を訪問したいと考えております。対象は、基本的に田中前委員長が2年前に訪問したところと同じところを予定しております。

○記者 だから、この順番とかは、特にそれぞれの委員長と首長さんたちとの日程調整の結果、まずここからということなのですか。例えば双葉、大熊から始めるというとなんとなく分かりやすいのですけれども、話が。そうではなくてということは。

○大熊総務課長 順番には意味はなく、日程の調整と移動の都合その他の予定でこうなっているということでもあります。

○記者 1月にも予定されているということですが、それはもう日程もほぼ決まっていらっしゃるのですか。

○大熊総務課長 日程はまだ調整をするところでございまして、確定はしておりません。1月中にということで、今、考えているところでございます。国会日程なども見ながら最

終的には固めていくことになると思っています。

○記者 あと、田中前委員長、臨時参加か何かの肩書をその期間だけつけるというお話でしたけれども、今、現時点では何もついていないのですかね。

○司会 はい。ついてございません。

○記者 分かりました。

○司会 ほか、御質問はございますか。オガワさん。

○記者 朝日新聞、オガワです。よろしくお願いします。

今の点に関連して、1月に別の自治体を訪問される際も、これは当然、田中前委員長も同行される予定なのでしょうか。

○大熊総務課長 日程がまだ確定しておりませんので、全てフィックスではございませんけれども、田中前委員長と更田新委員長と一緒に訪問をさせていただくという予定で調整をしつつあるところでございます。具体的に申し上げますでしたが、先ほどスミさんからも御質問がありました被災地より発電所に近い地域、具体的には浪江、双葉、大熊、富岡、楡葉、広野などの訪問を予定して調整を進めていこうとしているところでございます。

○記者 まだ先の話になると思うのですが、今後また福島を訪問される際も、前委員長も同行されるということを考えていらっしゃるのでしょうか。

○大熊総務課長 それはこの1月ではなくて、今後ずっとという御質問ですか。

○記者 おっしゃるとおりです。今後、1月のが終わって、また再び福島訪問を検討される際にも。

○大熊総務課長 それは今、予定を考えているのは、この12月と1月で被災地全体を回りたいというところまで考えていますので、そこから先を現時点で何か予定したり、計画しているということはありません。

○司会 よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—